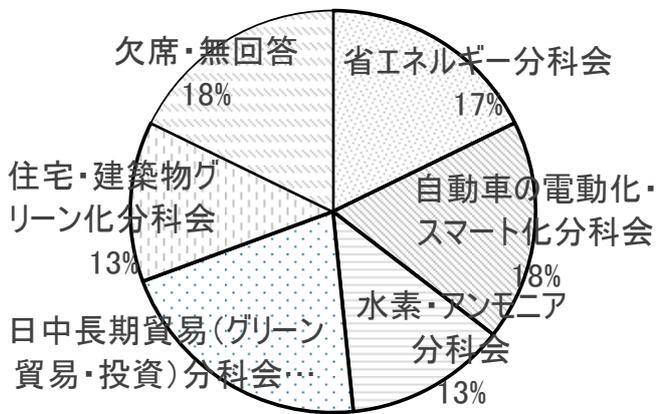


第17回日中省エネルギー・環境総合フォーラム事後アンケート集計結果

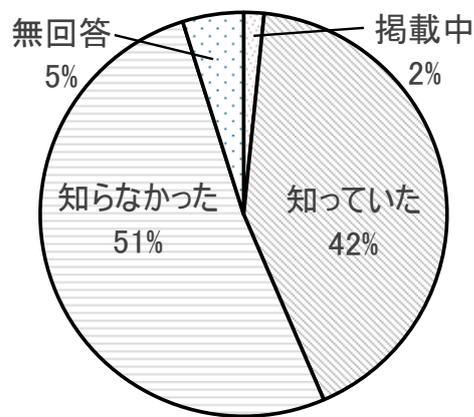
有効回答:62件 実施期間:2024年11月10日～11月29日

ご回答者様基本情報

■ どの分科会に参加しましたか？

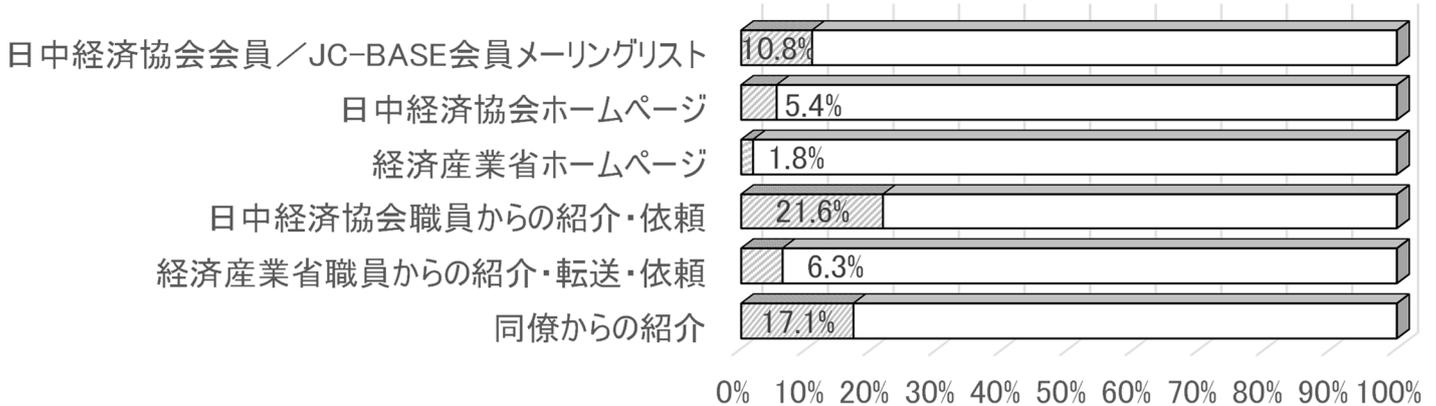


■ 「日中省エネルギー・環境技術データバンク」はご存じでしたか？



今回のフォーラムについて

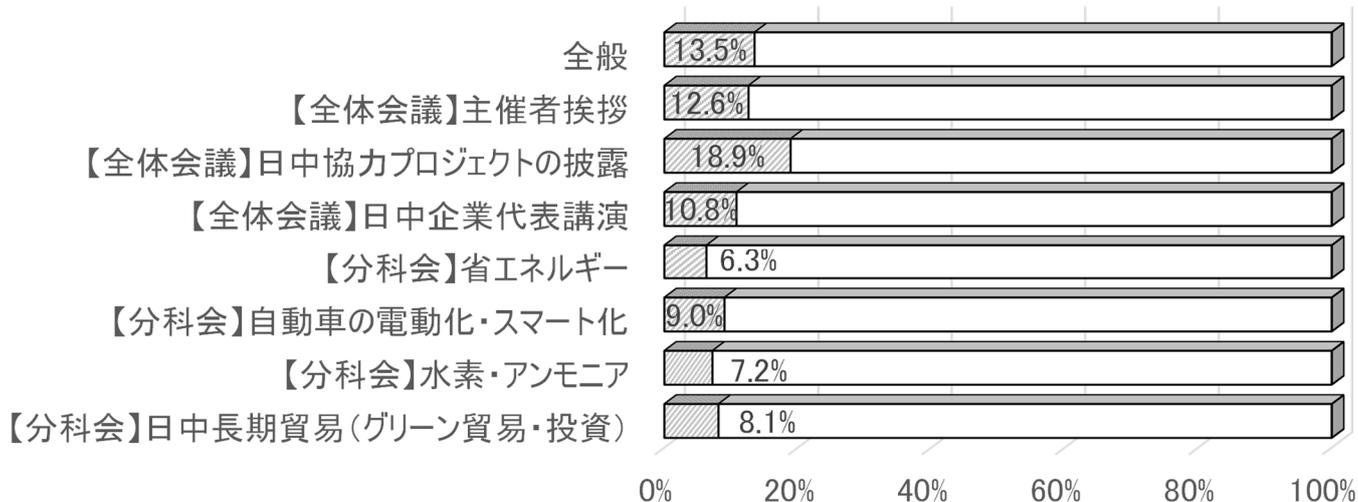
■ フォーラムの開催はどのように知りましたか？(複数回答可)



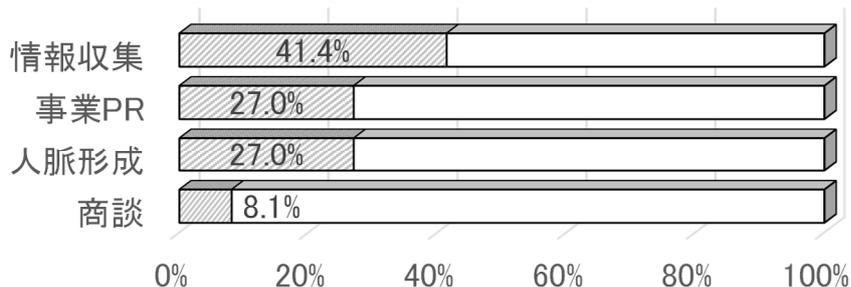
(その他)

- ・中国の特約店契約予定からの会社からの情報。
- ・2019年より参加している。

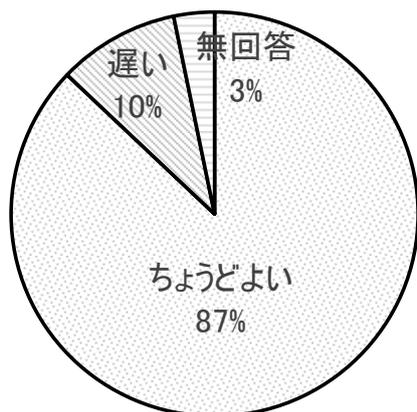
■ 今回のフォーラムに参加した一番の目的はどのプログラムでしたか？



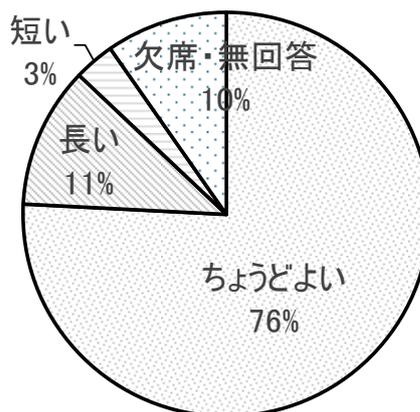
■ 貴社の対中ビジネスにどのような面で役に立ちましたか？(複数選択可)



■ 開催のご案内の時期はいかがでしたか？

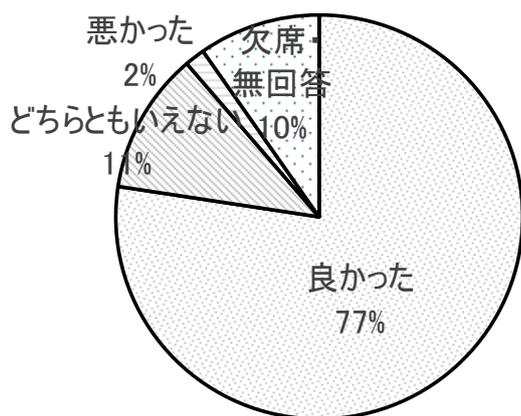


■ 全体会議の長さはいかがでしたか？



本年は9月26日に賛助会員様とJC-BASE ご連絡担当者様へメールにて開催のご案内と日中経済協会ウェブ上に開催の告知をいたしました。

■ 分科会のアジェンダや進行はいかがでしたか？



今後のフォーラムについて

■ 今後の分科会で取り上げてほしいテーマはありますか？

- ✓ 水素・アンモニアは継続的に取り上げて欲しい。
- ✓ 水環境。
- ✓ AI 関連、低空経済関連など新しいハイテク分野を取り上げていただきたい。
- ✓ エネルギー分野のテーマが多いので、水や大気、土壌や産業廃棄物処理などの環境汚染対策に関する活動も取り上げてほしい。
- ✓ 住宅設備・建材にフォーカスした中国の市場ニーズ、中国における法令、認証等の最新情報の共有。
- ✓ ウェルネス&グリーン。
- ✓ 建築分野の省エネ技術について。
- ✓ どういう形で日中企業が協力すればいいとかパネルディスカッションがあれば。
- ✓ 新たに住宅建築物グリーン化分科会が設けられたのは良いことと思うが、日本ではビル建設の省エネ G 化と、ビル自体の省エネ G 化、住宅の省エネ G 化の3つに細分化されていて、どちらかという後ろの二者にスポットが当たっているので、すべてを扱うのではなく、今後どれかに絞ったほうが良いのではと感じた。
- ✓ マルチパスウェイの自動車社会。
- ✓ 引き続き、自動車の電動化・スマート化の分科会を開催していただきたい。
- ✓ 省エネにおける法令と政府施策や補助、及び関連協会や学会の支援・推進とその事例などを話題とする分科会。
- ✓ 太陽光のさらなる応用、防災問題とその関係商材。
- ✓ 環境面だけではない、多分野で展開してほしい。
- ✓ CCS について。
- ✓ カーボンニュートラル(特に CBAM)。
- ✓ カーボンプライシングの動向について。

- ✓ 次世代モビリティ(SDV・自動運転・シェアリング)サービス。
- ✓ 建築物の断熱改修(材料だけでなく設備も含めて)。
- ✓ 脱炭素の時代に中国との情報システムの構築が必要と思う。
- ✓ AIと経済産業、企業レベルの炭素削減技術、日中企業の商談会と契約。
- ✓ 循環経済。

■ 次回以降のフォーラムで PRしたい貴社のプロジェクトがあればご記入ください。

※事務局注: 個社や個人が特定できる記述は編集しております。

- ✓ 環境分析の認知度向上に向けた活動の進捗状況を PRしたい。
- ✓ 今年発言したので、来年は傍聴に回れたらと思う。
- ✓ グリーンアンモニア関連の共同取組。
- ✓ 政府&METI 方針に転換ない限り、次年度もお世話になると思われ、よろしくお願ひしたい。
- ✓ 現時点では特になし、今回披露した協力プロジェクトを推進する。
- ✓ 地域冷暖房事例やコロナ後事務所の新しい空調を PRしたい。
- ✓ 日中技術交流支援として、①スマート農業導入指導、②日本品質を起こる養鰻技術指導・養鰻環境設備機器の整備指導、③防水・耐候・防さび施工に需要のあるシリコン塗料による建築施設等塗装事業導入指導、④ツーバイフォー工法技術による中高層施設建設指導などを企画中。
- ✓ LED 照明の応用。
- ✓ 自然エネルギー開発。弊社で現在開発中の新エネルギーの技術があり、今後、日中共同で研究し、開発も検討したい。
- ✓ 産官学連携の成果。

■ 本フォーラムに関してご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください。

※事務局注: 個社や個人が特定できる記述は編集しております。

<内容面>

- ✓ 規模も大きく非常に有意義なフォーラムだった。住宅・建築物グリーン化分科会の継続開催を希望する。
- ✓ 日中長期貿易協議会の在り方は検討すべきだと思う。

<運営面>

- ✓ やむを得ないものと理解しているが、メモをとる上で机がないのは不便だった。
- ✓ 「日中協力プロジェクト」の発表(登壇)時間をもう少し長くしていただきたい。また、3 組まとめでの登壇ではなく、1 組ずつ発表の機会をいただけるとありがたい。今回も貴重な機会をいただき感謝。
- ✓ 開催案内がわずか 1 カ月前と短すぎたと思う。分科会(日中長期貿易)も、発表者 10 名で、一

人当たり 15 分程度と目まぐるしく感じた。もっと発表者の人数を減らし、質疑応答やディスカッションの機会を設けるべきだと感じた。

- ✓ 朝から午後 5 時まででは主催者側もすごく疲れてしまうと思う。
- ✓ 中国参加者の食費をカバーするため、日本参加者から(のみ)昼食代を徴収したのだとしたら、望ましくないと思う。皆わざわざ土曜に出てきているのだから、予め予算措置を講じ、全員無償とすべきでは。ランチの食事取り列を一列しか設けなかったのは明らかにまずく、機転を利かせ払い戻しますと触れて回っていたのは良かったものの、時すでに遅く、食べ物のテーブルは中央に配すべき。とはいえお疲れ様でしたと申し上げたい。
- ✓ 今回は、クリスマスとかのイベントと重ならない日程で助かった。コーヒープレイクなどで水などの提供をしてはどうか。
- ✓ 日中協力モデルプロジェクト文書交換式が慌ただしかった。全体のスケジュールもあるとは思いますが、その後の休憩時間が予定よりも早めとられていたため、例年よりプロジェクト件数が少ない場合、もう少し各社の登壇時間を長めにとるなどの工夫をしてもらえると大変有難い。
- ✓ オンライン上で資料スライドや参加者リストがダウンロードでき、大変便利であると感じた。また、中国側との人脈形成に役立てることができた。
- ✓ 企業マッチング交流の発表時間は少なくとも 5 分以上が必要だと思われる。
- ✓ 昼食レセプションが全く寄与してなかったのが残念。もう少しレイアウトなどの動線を考えるべき。
- ✓ 平日に開催できればありがたい。
- ✓ スピーカーとして参加し、大変勉強になった。今後の改良点を 2 点申し上げる。①発言時間帯が変更になったことを当日初めて仔細知らされた。プライベートの用向き調整などもあり、3 時間弱待機したが、いくばくかご配慮いただきたかった。②会場も部屋の名前の連絡のみ。日本側へのご配慮をお願いしたい。ますますのご盛会を祈念したい。感謝。
- ✓ 写真の共有はとても良いサービスだと思う。自社は、場内アナウンスを聞いていなかった者が撮影したのものを使ったため(日中経済協会から承認は得た)、今回は使わないが、事前にアナウンスがあると良かったと思う。感謝。

<収穫・感想>

- ✓ 中国国家発展改革委員会の幹部も招いていただき、人脈形成と会話の機会を作っていただけで大変感謝している。引き続き、自社の中国事業推進を支えていただける場を継続して準備していただくと大変ありがたい。
- ✓ このフォーラムが大変充実したイベントとなったことに感謝。デカップリングをはじめビジネス環境の変化が加速している中で、クロスボーダーの協業・協力について大変示唆に富む情報が得られた。
- ✓ 省エネ・環境をテーマした本フォーラムは、日中間協力事業の 1 つの大きなプラットフォームを構築できており、これからも、色々な分野の協力 PJ の推進という役割を期待されていると感じた。

- ✓ 弊社の技術を中方に紹介。反応を聞くことが目的。今回の分科会で複数社より関心が示された。フォローアップを展開できるためよかった。
- ✓ 経済産業省及び日中経済協会と会話ができることが収穫だった。
- ✓ 調整が大変な中、対応いただき感謝している。
- ✓ 今回は特にお世話になり、心より感謝を申し上げたい。今後も機会があれば是非また日中経済協会の主催イベントに参加したい。
- ✓ 社内で紹介されて参加したが、日中の企業からのプレゼンが非常に勉強になった。次回以降も参加したい。
- ✓ 5年越しの再開につき関係者の皆様方のご尽力に敬意を表したい。感謝。
- ✓ 日中関係が少し難しくなる雰囲気がある中、中方とフランクな意見交換ができたことは、大変よかった。感謝。

以上